

仙台市下水道使用料システム構築・保守業務委託

要 件 定 義 書

機 能 要 件 一 覧 表

機能項目			No.	機能要件	備考
大分類	中分類	小分類			
使用 場 所 台 帳	登録・編集	機能	1	下水使用場所毎に、ＩＤ（システム発番又は水道栓番号）・使用場所情報・使用者情報を台帳管理できること	
		登録	2	使用開始した下水使用場所（水道不使用）について、ＩＤを発番し、使用開始日・使用料区分・使用料算出方法・徴収方法を登録・管理できること	
		登録	3	登録した使用場所（水道不使用）に対して、下水道使用者情報（氏名・住所・減免情報等）を登録・管理できること	
		登録	4	下水使用場所（水道不使用）毎に、使用者本人・納入義務者（支払名義人）・納入通知書の送付先を登録し、管理できること	
		登録	5	下水使用場所（水道不使用）毎に、口座振替納入に係る口座情報を登録し、管理できること	
		登録	6	下水使用場所（水道使用）について、本市水道局システムから受信するデータを基に、自動で使用場所・使用者情報を登録できること	水道局システム連携 添付資料2 連携仕様書参照
		登録	7	水道局連携により自動登録した使用場所・使用者情報に対して、使用料区分・使用料算出方法・減免情報等を登録できること	
		登録	8	使用料区分は添付1別表に示す公共下水道等の区分（公共・特環(秋保・根白石・定義)・地域・農集・浄化槽）及び下水道設備なしの8つから選択して登録できること	添付資料1 下水道使用料等概要参照
		登録	9	使用料算出方法は添付資料1の別表に示す13区分の算出方法から選択して登録できること	添付資料1 下水道使用料等概要参照
		登録	10	使用開始日等の日付登録は、登録時の日付を初期値として自動表示し、手動でカレンダーから選択・登録できること	
		変更	11	使用場所情報・使用者情報の変更について、システム画面上で編集・登録し、変更履歴を記録できること	
		変更	12	下水使用場所（水道使用）情報の変更があった場合、本市水道局システムから受信するデータを基に、自動で下水道使用者の情報を更新・登録できること	水道局システム連携 添付資料2 連携仕様書参照
		変更	13	下水使用場所（水道使用）情報の自動変更登録があった場合、任意の期間を指定して、変更内容を一覧で確認できること	
		変更	14	同一使用場所に対して廃止及び使用開始（入居者の入替り等）があった場合、使用場所に対して、使用者を世代管理できること	
		休止等	15	下水道の廃止・休止について、廃止日等を登録し、使用状況（使用・休止・廃止）を自動で更新できること	
		休止等	16	賦課不要（工事による地下浸透等により使用料を徴収しない）の使用場所について、使用者の変更等があった場合は、日次で変更一覧の確認ができること	
		休止等	17	水道の廃止・休止届があった場合、本市水道局システムから受信するデータを基に、自動で廃止日等を登録し、使用状況を更新できること	水道局システム連携 添付資料2 連携仕様書参照
		出力	18	登録した使用場所（使用者）を選択し、減免申請書（使用料又は延滞金、非課税減免又は生活保護減免、新規又は継続を選択）を出力できること	要件定義書 帳票No.3
		出力	19	減免申請に基づき、非課税減免・生活保護減免の登録した使用場所（使用者）について、通知書（決定通知又は不承認通知）を出力できること	要件定義書 帳票No.4, 5
	照会・窓口対応	一覧	20	登録された使用場所について、使用場所情報・使用者情報・減免情報・徴収履歴・滞納状況等を一覧表示できること	
		検索	21	一覧表示した使用場所情報について、各表示項目（複数）で検索（部分一致・完全一致・あいまい検索）による絞り込みができること	
		検索	22	一覧表示した使用場所情報について、使用開始日等の日付は、範囲指定による検索・絞り込みができること	
		出力	23	検索・絞り込みした使用場所一覧について、Excelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.1
		出力	24	使用場所一覧から選択した使用場所について、登録された使用場所情報・使用者情報の詳細を表示し、Excelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.2
		EUC	25	登録した使用場所情報（使用場所・使用者・使用開始日等の情報）について、任意のデータをCSV形式等で出力できること	
		EUC	26	任意データのCSV等出力にあたり、出力項目・抽出条件・出力順序をユーザ操作で任意に設定できること	
		EUC	27	任意データのCSV等出力に関する設定を複数保存し、定例的なデータ出力を簡便な操作により実施できること	
		機能	28	年度毎に、使用場所・排出水量の一覧をExcelファイル等に出力し、排出水量の多い上位50件の抽出ができること	要件定義書 帳票No.6

機能項目			No.	機能要件	備考
大分類	中分類	小分類			
使用料調定	使用料調定	排出量登録	29	下水道使用料算定の基礎値として、本市水道局システムから受信するデータの下水道使用量を、自動で登録できること	水道局システム連携 添付資料2 連携仕様書参照
		排出量登録	30	排出水量申告対象に対して、井水等使用量（井水・雨水・工業用水等の合計）と減水量(蒸発・散水等の合計)を登録できること	
		排出量登録	31	申告排出汚水量の登録にあたって、徴収方法・調定期区分（ラウンド）毎に、入力用Excelファイルの取込み等、簡易に登録できる仕組みを有すること	添付資料1 下水道使用料等概要参照
		水道連携	32	水道局扱い使用料について、申告排水量（井水等使用量・減水量）等を水道システムに送信できること（使用料算出は水道局側で実施）	添付資料1 下水道使用料等概要、 添付資料2 連携仕様書参照
		排出量登録	33	建設局扱い使用料のうち排出量申告対象について、申告水量と下水道使用量(水道不使用の場合は0)を自動で合算し、排出汚水量として登録できること	添付資料1 下水道使用料等概要参照
		排出量登録	34	建設局扱い使用料のうち排出量申告対象以外について、世帯人数に応じた排出水量を自動計算し、登録できること	〃
		加算・減免	35	水質使用料加算に該当する使用者について、該当項目を選択・登録し、使用料単価に対する加算を自動で反映できること	〃
		加算・減免	36	使用者に対して生活保護等による減免の登録をした場合、申請日の翌月から使用料を自動で0円として調定できること	〃
		加算・減免	37	使用者に対して市民税非課税による減免登録をした場合、申請日の翌月から基本使用料相当分を自動で減算できること	〃
		使用料算出	38	建設局扱い使用料について、登録した算出方法・排出水量・加算減免等の情報、及びマスタ管理する計算式・単価により、下水道使用料を自動で算出できること	〃
		使用料算出	39	浄化槽使用者に対して、浄化槽仕様（人槽）及びマスタ管理する単価により、浄化槽使用料を自動で算定できること	〃
		使用料算出	40	浄化槽使用料の算定において、単価が設定されていないもの（51人槽以上）について、個別に使用料を設定し、浄化槽使用料を算定できること	〃
		使用料算出	41	月途中の使用開始、休止・廃止の場合、申請日に応じた日割（分母は30日で固定）の使用料を自動で算定できること	
		調定登録	42	建設局扱い使用料の調定について、調定日・金額・予算科目（使用料区分から自動設定）・納入義務者（使用者）を登録できること	
		調定登録	43	調定の登録方法は、新規・複写・変更（更正）とし、収入確定後の変更（更正）については他の調定と区別して管理できること	
		調定登録	44	調定日は登録時の日付を初期値として自動表示し、手動でカレンダーから選択・登録できること	
	料金マスタ	単価	45	下水道使用料の単価として、基本使用料（一般汚水・公衆浴場汚水・農業集落排水で共通）をマスタ管理できること	添付資料1 下水道使用料等概要参照
		単価	46	一般汚水の下水道使用料について、汚水量に応じた8段階の単価を一般汚水単価としてマスタ管理できること	〃
		単価	47	公衆浴場汚水の下水道使用料について、単価（汚水量によらず一定）を公衆浴場汚水単価としてマスタ管理できること	〃
		単価	48	農業集落排水の下水道使用料について、汚水量に応じた7段階の単価を農集排水単価としてマスタ管理できること	〃
		単価	49	浄化槽使用料について、浄化槽仕様（人槽）に応じた13段階の単価を浄化槽単価としてマスタ管理できること	〃
		単価	50	水質使用料加算について、BODに対して2段階、SSに対して2段階の4項目の単価を水質加算単価としてマスタ管理できること	〃
		単価	51	単価マスタの変更に際して、適用日を設定し、適用日に応じて自動で使用料算定に使用する単価を切り替え、自動で日割計算ができること	〃
		計算式	52	下水道使用料の算定に用いる使用料算出方法毎の5パターンの計算式についてマスタ管理できること（建設局扱いで使用する計算方法は3パターン）	〃
		計算式	53	下水道使用料の計算式の変更に際して、適用日を設定し、適用日に応じて自動で使用料算定に使用する計算式を切り替え、自動で日割計算ができること	〃

機能項目			No.	機能要件	備考
大分類	中分類	小分類			
	一覧・検索等	水道連携	54	水道局扱い使用料の調定（水道局実施）に関する連携情報を取込み、下水道使用料に関する調定として管理できること	水道局システム連携 添付資料2 連携仕様書参照
		一覧	55	登録した調定（水道局扱い及び過年度含む）について、ＩＤ・使用者氏名・支払名義人・使用料区分・調定日・賦課日・水量・金額(税別表示)等を一覧表示できること	
		検索	56	調定の一覧表示において、各表示項目について検索・絞り込みができること（ＩＤ・使用者・支払名義人・金額(範囲指定)・納期(範囲指定)等による検索）	
		表示	57	一覧表示から選択した調定について、使用者氏名/住所/ＩＤ・調定日・賦課日・金額等を全段階（当初・変更・収納）で詳細情報を表示できること	
		出力	58	検索・絞り込みした調定一覧について、絞り込み範囲で金額・水量等を集計し、調定一覧・集計表としてExcelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No. 7
		EUC	59	登録した調定情報（使用者・水量・調定額等の情報）について、任意のデータをCSV形式等で出力できること	
		EUC	60	任意データのCSV等出力にあたり、出力項目・抽出条件・出力順序をユーザ操作で任意に設定できること	
		EUC	61	任意データのCSV等出力に関する設定を複数保存し、定期的なデータ出力を簡便な操作により実施できること	
賦課	納入通知	登録	62	建設局扱いの使用料について、個別・一括（料金区分等により選択した使用者に対する一括入力）の両方で賦課日・納入期限の登録ができること	
		登録	63	賦課日は登録月15日、納期は月末日（土日祝の場合翌営業日）を初期値とし、カレンダーから選択・登録でき、土日祝日を選択した場合、警告を表示すること	
		出力	64	建設局扱いの使用者（水道不使用）について、納入期限を登録し、調定登録内容（金額等）に応じた納入通知書を帳票として出力できること	要件定義書 帳票No.1 1
		出力	65	延滞金調定機能にて登録した延滞金調定について、発行日・納入期限を登録し、調定登録内容（金額等）に応じた納入通知書を帳票として出力できること	要件定義書 帳票No.1 1
		出力	66	変更（更正）登録した調定について、調定更正決定通知書を帳票として出力できること	要件定義書 帳票No.1 2
		出力	67	滞納整理機能にて登録した分納計画に基づく分納の納入通知書を帳票として出力できること	要件定義書 帳票No.1 3
		機能	68	納入通知書の帳票出力について、発行日を範囲指定して、指定範囲内の納入通知書を一括出力（印刷）できること	
		機能	69	納入通知書には、収納消込用のバーコードを印刷できること	
		再発行	70	納入通知書の紛失等があった場合、出力済みの納入通知書を指定し、再発行できること	
		再発行	71	納入通知書の再発行に伴う二重徴収を防止する仕組みを有すること	
		再発行	72	納入通知書の発行・再発行に関して、履歴情報（発行日・納入期限）を一覧で確認できること	
	口座振替	出力	73	口座振替納入分は、納入通知書に代えて、前回口座振替結果を併記した下水道使用料通知書を帳票として出力できること	要件定義書 帳票No.1 5
		出力	74	口座振替納入分について、納期（振替日）ごとに、口座振替請求データが作成できること	要件定義書 帳票No.1 4

機能項目			No.	機能要件	備考
大分類	中分類	小分類			
収 納	収納消込	収納消込 (読取り)	75	納入通知書のバーコードをリーダーで読み取り、収納消込データ（対象月・金額・納付方法・消込方法・実納付日・収納日等）の取込み・消込処理ができること	
		収納消込 (読取り)	76	バーコード読み取りによる一括収納消込処理時に、消込不能・過誤納・一部納付を自動判別・警告表示し、登録できること	
		収納消込 (読取り)	77	収納の入力・バーコード読み取りした収納について、個別に手入力により取消し・修正ができること	
		出力	78	バーコード読み取りによる一括収納消込処理におけるエラーについて、読取り収納エラーリストをExcelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.1 6
		収納消込 (口座振替)	79	口座振替結果データにより、一括で消込処理ができること（口座振替結果は、次回下水道使用料通知書に表示する）	
		出力	80	口座振替結果データによる収納消込におけるエラーについて、口座振替収納エラーリストをExcelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.1 7
		出力	81	口座振替結果データにおける口座振替不能分について、一覧をExcelファイル等に出力し、各件の振替不能通知書を帳票として出力できること	要件定義書 帳票No.1 8, 1 9
		収納消込 (水道連携)	82	水道局扱い使用料の収納（水道局実施）に関する連携情報を取込み、下水道使用料に関する収納として管理できること	水道局システム連携 添付資料2 連携仕様書参照
		機能	83	二重消込の防止ができること	
		機能	84	消込不能となった収納消込データをシステムで管理し、修正・再消込処理ができること	
		一覧	85	登録した収入（過年度含む）について、ＩＤ・使用者氏名・支払名義人・使用料区分・調定日・賦課日・収納日・金額（税別表示）等をExcel等に出力できること	
		検索	86	収入の一覧表示において、各表示項目について検索・絞り込みができること（ＩＤ・使用者・支払名義人・金額(範囲指定)・納期(範囲指定)等による検索）	
		表示	87	一覧表示から選択した調定について、使用者氏名/住所/ＩＤ・調定日・賦課日・収納日・金額等の詳細情報を表示できること	
		出力	88	検索・絞り込みした収入一覧について、絞り込み範囲で金額等を集計し、収入一覧・集計表としてExcelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.2 0
		出力	89	一覧表示から選択した収入について、使用料領収済証明書（インボイス制度対応）を出力できること	要件定義書 帳票No.2 1
		出力	90	収納消込の結果に基づく未収金について、日付指定絞り込み範囲において金額等を集計した形で、未収金一覧・集計表としてExcelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.2 2
	過誤納金	登録	91	過誤納金が生じた調定に対して、還付充当を登録できること	
		登録	92	還付充当登録の際に、還付加算金の登録ができること	
		登録	93	充当登録の際に、充当先候補を検索・表示し、その中から充当先の選択ができること	
		検索	94	過誤納・還付の一覧表示において、各表示項目について検索・絞り込みができること（ＩＤ・使用者・還付状況・還付日(範囲指定)等による検索）	
		表示	95	一覧表示から選択した過誤納・還付について、ＩＤ・使用者氏名・調定/賦課/収納日・金額（税別表示）・還付未済・還付日等の詳細情報を表示できること	
		出力	96	検索・絞り込みした過誤納・還付一覧について、絞り込み範囲で金額等を集計し、過誤納・還付充当・還付未済一覧・集計表としてExcelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.2 3
		出力	97	登録した還付充当について、登録内容を反映した還付充当通知書を帳票として出力できること	要件定義書 帳票No.2 4
	収納管理	EUC	98	登録した収納情報（使用者・収納額・滞納額等の情報）について、任意のデータをCSV形式等で出力できること	
		EUC	99	任意データのCSV等出力にあたり、出力項目・抽出条件・出力順序をユーザ操作で任意に設定できること	
		EUC	100	任意データのCSV等出力に関する設定を複数保存し、定期的なデータ出力を簡便な操作により実施できること	

機能項目			No.	機能要件	備考
大分類	中分類	小分類			
滞 納 整 理	督促・催告	機能	101	収納情報を基に滞納者を台帳管理できること	
		水道連携	102	水道局扱い使用料の督促・催告（水道局実施）に関する連携情報を取込み、下水道使用料に関する滞納整理情報として管理できること	水道局システム連携 添付資料2 連携仕様書参照
		水道連携	103	水道局扱いで調定後2年経過した滞納者（調定）を抽出し、建設局扱い使用料とあわせて収納・滞納整理等の対象として管理できること	水道局の徴収対応対象は調定後2年経過まで
		出力	104	滞納者一覧（水道局扱いで調定後2年経過を含む）を滞納者整理簿としてExcelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.2 5
		出力	105	滞納者に対して督促状及び納入通知書（督促）を出力できること	要件定義書 帳票No.2 7
		出力	106	滞納者（督促済み）に対して催告書及び納入通知書（催告）を出力できること	要件定義書 帳票No.2 8
		機能	107	督促状・催告書の発行履歴を管理できること	
		出力	108	滞納者への督促状・催告書・通知書に添付する滞納額明細書（滞納者の未納月・未納額等の内訳）を出力できること	要件定義書 帳票No.2 6
	延滞金調定	機能	109	延滞金対象者（滞納があり、使用料（本料）を完納したもの）を台帳管理できること	
		登録	110	延滞金計算の割合（適用期間別に納期限から1か月まで及び1か月経過後の2種類）の設定をできること	
		登録	111	納期限後に完納となった下水道使用料等について、一括でマスタ管理する延滞金割合と収納履歴等を基に延滞金を算定し、調定登録できること（週次処理）	
		登録	112	調定登録した延滞金について、手動で修正登録ができること（減免等）	
		水道連携	113	水道局扱いの収納情報の連携毎に、完納日の期間を確認できること（例：R5.9.4連携の場合、完納日はR5.7.31～R5.8.30）	
		出力	114	延滞金納入義務者向けの滞納状況・延滞金額・計算過程・減免事由等を記載した延滞金明細書を帳票又はExcelファイルとして出力できること	要件定義書 帳票No.9
		出力	115	延滞金調定登録・延滞金減免登録について、期間を指定して延滞金調定・減免決裁簿をExcelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.1 0
		検索	116	延滞金の発生・減免・調定・収納・不納欠損等の状況毎に対象の抽出を行えること	
	滞納処分	機能	117	延滞金対象者から滞納整理対象者（督促・催告済の滞納者）をExcelファイル等に出力し、管理できること	
		一覧	118	滞納整理対象者について、督促済の未集金額合計・最終納付日の一覧をExcelファイル等に出力し、検索・絞込みができること	
		登録	119	折衝・処分等の記録が登録できること（自由記述のメモ）	
		登録	120	滞納者毎に対応方針を滞納処分・一括納付・分割納付・処分停止から選択できること	
		機能	121	一括納付とした滞納者について、一括納付書の発行及び一括収納処理ができること	
		出力	122	分割納付とした滞納者について、分納計画に基づく分納誓約書・分納納付書を出力できること	要件定義書 帳票No.3 0, 3 1
		出力	123	強制徴収公債権の差押予告通知書から非強制徴収公債権・私債権の支払督促など滞納整理事務で使用する各種帳票を適宜出力できること	要件定義書 帳票No.3 2～3 6
	時効等管理	機能	124	調定毎に納入義務消滅日（時効等）の管理ができること	
		機能	125	納入義務消滅日は処分停止後3年・消滅時効5年で自動設定できること	
		機能	126	時効の更新（差押処分・債務承認等）に対応できること	
		機能	127	期間を指定して納入義務消滅（時効等）の一覧（予定・実績）をExcelファイル等に出力できること	要件定義書No.3 6
	不納欠損	機能	128	回収見込みのない滞納整理対象者について、即時納入義務消滅の設定をし、不納欠損の処理ができること	
		機能	129	納入義務消滅（時効等）が成立した調定を一覧表示し、選択（複数可）について不納欠損の処理ができること	
		出力	130	不納欠損処理の登録をしたものについて、滞納処分執行停止・不納欠損調書を出力できること	要件定義書 帳票No.3 8
		出力	131	不納欠損について、指定した期間で金額等を集計し、不納欠損一覧・集計表としてExcelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.3 9

機能項目			No.	機能要件	備考
大分類	中分類	小分類			
メ ー タ ー 管 理	メーター管理	登録	132	排出汚水量の測定のためのメーター（量水計・時間計）について、申請者名・設置場所・型式・設置日・有効期限等を登録・管理できること	
		登録	133	メーターの更新履歴を管理できること	
		検索	134	登録項目で検索（単語検索・日付範囲指定検索等）できること	
		出力	135	登録されたメーター情報を一覧出力できること	
決 算 処 理	日次処理	機能	136	任意期間（日単位）を指定して、指定範囲内の調定・収入・還付充当・還付未済・未収のそれぞれの金額を確認できること	
		出力	137	財務会計システムへの入力用として、建設局扱い使用料の日毎・消費税率別に調定・収入金額の集計表（会計伝票入力票）を出力できること	要件定義書 帳票No.7 (調定一覧)・20 (収納一覧)を利用
	月次処理	機能	138	任意期間（月単位）を指定して、指定範囲内の調定・収入・還付充当・還付未済・未収のそれぞれの金額を確認できること	
		出力	139	財務会計システムへの入力用として、水道局扱い使用料の月毎・消費税率別に調定・収入金額の集計表（会計伝票入力票）を出力できること	要件定義書 帳票No.7 (調定一覧)・20 (収納一覧)を利用
		出力	140	月毎に水道局連携データ・申告水量等をExcelファイル等に出力し、有収水量の集計ができること	要件定義書 帳票No.7 (調定一覧)を利用
	年次処理	機能	141	不納欠損処理結果について、決算総括表へ反映できること	
		出力	142	年間の調定・収入・還付充当・還付未済・未収のそれぞれの金額を集計し、使用料決算総括表・集計表をExcelファイル等に出力できること	要件定義書 帳票No.40
シ ス テ ム 共 通	ユーザ管理	全般	143	ユーザID・パスワードによる認証でログインし、30名程度のユーザの管理管理16台程度の端末から同時ログインが可能なシステムであること	
		権限	144	ユーザ毎に操作権限を設定し、権限マスタの設定に応じたシステム機能の利用制限ができること	
		権限	145	操作権限の種類は閲覧のみ・編集可能・システム管理者で設定できること	
		ログ管理	146	不正使用を防止するため、アクセスログ・システム操作ログ情報を自動記録できること（保存期間は2年程度とする）	
		ログ管理	147	稼働状況確認・システムメンテナンスのために必要なアプリケーションログ等を自動記録できること	
	帳票管理	帳票	148	各種帳票の様式について、簡易な変更（納付書記載の取扱い金融機関名等）をユーザ操作により実施できること	
	ユーザ補助	機能	149	ユーザの操作補助機能として、システム上で操作マニュアルを閲覧できる等のヘルプメニューが充実していること	
		機能	150	任意に設定する時間で操作がない場合に、自動でセッションを切断する機能を有すること	